



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月5日

上場会社名 川本産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3604 URL <https://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)福井 誠
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員経営企画室室長 (氏名)吉田 康晃 (TEL)06 (6943) 8951
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,009	9.4	72	—	128	679.6	57	34.0
2024年3月期第1四半期	7,322	△3.2	△39	—	16	△86.0	42	△43.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 103百万円(△0.3%) 2024年3月期第1四半期 103百万円(△26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	9.87	—
2024年3月期第1四半期	7.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	20,639	7,749	34.3
2024年3月期	19,549	7,750	36.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 7,082百万円 2024年3月期 7,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,100	3.4	170	69.5	200	△8.3	140	△21.7	24.16
通期	31,000	4.6	500	21.9	650	15.3	455	13.3	78.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	6,000,000株	2024年3月期	6,000,000株
2025年3月期1Q	204,480株	2024年3月期	204,480株
2025年3月期1Q	5,795,520株	2024年3月期1Q	5,795,520株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や大企業を中心とした賃上げ、インバウンド増加など、経済活動の回復傾向がみられました。一方、ウクライナや中東など不安定な国際情勢や円安進行の継続、原材料・燃料価格の高止まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社グループが属する医療衛生材料業界は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染管理製品をはじめとした医療消耗品の市場は拡大いたしました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ分類されたことにより、その需要は減少しております。また、当業界は政府による医療費適正化に向けた取組みの流れの中であり、衛生材料を含む医療消耗品は引き続き価格競争に晒されております。加えて、原材料価格やエネルギーコストの高騰、円安に起因する輸入品価格の上昇など、厳しい事業環境が続きました。育児用品の業界におきましては、2023年の国内出生数は72万人となり、8年連続で減少するなど引き続きマーケットの縮小に直面しております。

このような状況の下、当社はコンシューマ事業、メディカル事業ともに自社製品の売上高拡大及び利益率の改善を基本方針として取り組んでまいりました。売上高は、国内卸売事業の主要得意先への販売が好調であったことや、口腔ケア製品などの販売注力製品の売上拡大、「圧迫療法」製品の販売を開始したこと等により、増収となりました。利益面では、原材料や輸入品価格、光熱費等の上昇があったものの、売上高の増加や費用削減等により、増益となりました。

以上の結果、第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は8,009,778千円（前年同期比9.4%増）、営業利益は72,700千円（前年同期は39,627千円の営業損失）、経常利益は128,826千円（同679.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57,192千円（同34.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(コンシューマ事業)

コンシューマ事業では、一般消費者や企業、各種施設に向けて、衛生材料・医療用品・介護用品・育児用品・安全衛生保護具等を積極的に販売いたしました。売上面では、国内卸売事業の主要得意先への販売が増加いたしました。口腔ケア製品では積極的な営業活動によりドラッグストア向けの販売が前年同期比112.2%となり、その他、育児用品、介護用品、各種衛生材料及び医療用品等につきましては、得意先ごとの増減はあるものの堅調に推移いたしました。結果、コンシューマ事業全体において増収で着地いたしました。利益面では、売上高の増加に伴い増益となりました。

以上の結果、売上高は5,870,001千円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は204,415千円（同17.2%増）となりました。

(メディカル事業)

メディカル事業では、感染管理製品や口腔ケア製品、手術関連製品の拡販及び製造受託の拡大に努めました。売上面では、積極的な販売活動の結果、手術関連製品、介護用品が前年同期比で約10%増加しております。医療機器等の製造受託においても、継続して受託活動に取り組んだ結果、前年同期比で121.6%と拡大したこと、また「圧迫療法」製品の販売を2024年6月から開始したこと等から、売上は増収となりました。利益面では、原材料価格・光熱費等の上昇、円安による輸入製品の仕入価格高騰などの要因は依然として継続しておりますが、売上高の増加や製造原価・経費等の削減により、増益となりました。

以上の結果、売上高は2,139,777千円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は70,191千円（前年同期は21,151千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は20,639,188千円、自己資本は7,082,011千円で、自己資本比率は34.3%（前連結会計年度末は36.2%）となりました。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は20,639,188千円となり、前連結会計年度末に対して1,089,802千円増加いたしました。

流動資産は15,630,923千円で、前連結会計年度末に対して1,042,688千円増加いたしました。「現金及び預金」が142,291千円増加、「受取手形及び売掛金」に「電子記録債権」を加えた売上債権が641,189千円増加、「商品及び製品」が293,231千円増加したことが主な要因です。

固定資産は5,008,264千円で、前連結会計年度末に対して47,114千円増加いたしました。「有形固定資産」が20,747千円増加、「繰延税金資産」が25,281千円増加したことが主な要因です。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は12,889,517千円となり、前連結会計年度末に対して1,090,889千円増加いたしました。

流動負債は9,836,608千円で、前連結会計年度末に対して1,151,598千円増加いたしました。「支払手形及び買掛金」が644,988千円増加、「短期借入金」が300,000千円増加、「関係会社短期借入金」が180,000千円増加したことが主な要因です。

固定負債は3,052,909千円で、前連結会計年度末に対して60,709千円減少いたしました。「長期借入金」が59,900千円減少したことが主な要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は7,749,670千円となり、前連結会計年度末に対して1,086千円減少いたしました。「その他の包括利益累計額」が45,137千円増加した一方で、「利益剰余金」が47,127千円減少したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月8日公表の業績予想に変更はありません。今後、第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込については見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,501,588	1,643,879
受取手形及び売掛金	4,736,847	4,724,791
電子記録債権	4,830,345	5,483,591
有価証券	2,291	2,291
商品及び製品	2,130,585	2,423,816
仕掛品	342,071	350,063
原材料及び貯蔵品	221,550	194,323
その他	835,506	819,976
貸倒引当金	△12,552	△11,810
流動資産合計	14,588,235	15,630,923
固定資産		
有形固定資産	3,199,078	3,219,826
無形固定資産		
のれん	216,486	216,462
その他	448,967	465,909
無形固定資産合計	665,453	682,372
投資その他の資産		
繰延税金資産	153,305	178,586
その他	972,365	956,892
貸倒引当金	△29,052	△29,413
投資その他の資産合計	1,096,618	1,106,066
固定資産合計	4,961,150	5,008,264
資産合計	19,549,386	20,639,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,008,277	4,653,266
短期借入金	1,000,000	1,300,000
関係会社短期借入金	1,720,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	807,970	774,470
未払法人税等	52,001	88,342
賞与引当金	148,032	59,964
返金負債	202,221	230,858
その他	746,507	829,706
流動負債合計	8,685,009	9,836,608
固定負債		
長期借入金	2,429,570	2,369,669
退職給付に係る負債	307,863	308,233
資産除去債務	47,737	47,796
その他	328,448	327,210
固定負債合計	3,113,618	3,052,909
負債合計	11,798,628	12,889,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,148,407	1,148,407
利益剰余金	4,449,321	4,402,194
自己株式	△74,457	△74,457
株主資本合計	6,406,271	6,359,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,363	211,960
為替換算調整勘定	239,049	305,121
退職給付に係る調整累計額	214,316	205,785
その他の包括利益累計額合計	677,729	722,867
非支配株主持分	666,756	667,659
純資産合計	7,750,757	7,749,670
負債純資産合計	19,549,386	20,639,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,322,658	8,009,778
売上原価	6,181,703	6,692,724
売上総利益	1,140,955	1,317,053
販売費及び一般管理費	1,180,583	1,244,353
営業利益又は営業損失(△)	△39,627	72,700
営業外収益		
受取利息	1,347	801
受取配当金	6,210	7,322
為替差益	32,522	32,651
仕入割引	14,928	15,483
その他	8,743	7,803
営業外収益合計	63,753	64,062
営業外費用		
支払利息	6,043	7,377
その他	1,557	559
営業外費用合計	7,601	7,936
経常利益	16,524	128,826
特別利益		
固定資産売却益	48	—
子会社役員退職金返上益	70,000	—
特別利益合計	70,048	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
事務所移転費用	—	4,900
特別損失合計	0	4,900
税金等調整前四半期純利益	86,572	123,926
法人税、住民税及び事業税	20,320	85,686
法人税等調整額	3,559	△19,854
法人税等合計	23,880	65,831
四半期純利益	62,692	58,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,006	902
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,686	57,192

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	62,692	58,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,700	△12,403
為替換算調整勘定	17,766	66,071
退職給付に係る調整額	△7,574	△8,530
その他の包括利益合計	40,891	45,137
四半期包括利益	103,584	103,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,578	102,330
非支配株主に係る四半期包括利益	20,006	902

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	コンシューマ事業	メディカル事業	計		
売上高					
国内製造事業	697,038	1,750,385	2,447,423	—	2,447,423
国内卸売事業	4,588,438	—	4,588,438	—	4,588,438
海外事業	—	205,543	205,543	—	205,543
その他の事業	81,254	—	81,254	—	81,254
外部顧客への売上高	5,366,730	1,955,928	7,322,658	—	7,322,658
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,366,730	1,955,928	7,322,658	—	7,322,658
セグメント利益又は損失(△)	174,484	△21,151	153,333	△136,809	16,524

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△136,809千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	コンシューマ事業	メディカル事業	計		
売上高					
国内製造事業	645,962	1,876,035	2,521,997	—	2,521,997
国内卸売事業	5,185,108	43,979	5,229,087	—	5,229,087
海外事業	—	219,763	219,763	—	219,763
その他の事業	38,931	—	38,931	—	38,931
外部顧客への売上高	5,870,001	2,139,777	8,009,778	—	8,009,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,870,001	2,139,777	8,009,778	—	8,009,778
セグメント利益	204,415	70,191	274,606	△145,780	128,826

(注) 1. セグメント利益の調整額△145,780千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	61,334千円	61,571千円
のれんの償却額	8,449	8,953